

ヒアリング項目

(会社・団体名 湖東開発株式会社)

※以下の質問1～4について、お考えをお聞かせください。

質問1 今現在、貴社・貴団体が地域社会において、日常生活上の困りごとを抱えている人や、一人暮らしの高齢者や障害のある人のために取り組まれていることがあれば教えてください。

- ・アパート管理の中で、孤独死や様子がおかしい前兆を発見した場合（例えば家賃の滞納や、水道未使用等）、野洲市社会福祉課に連絡を入れ相談してもらったりしている。
- ・高齢者優良賃貸住宅にお住いの一人暮らしの高齢者は月に1回程度様子をうかがいに訪問している。普段は居住者の元気な方を管理人に指定しているので、その方からの報告を週2回程度もらっている。

質問2 これからも県民が住み慣れた地域社会の中でいきいきと生活していくために、「地域福祉」に求められるものは何だと思えますか。

- ・上記の高賃貸住宅で各階の共用廊下にベンチを置くだけで、非常に良いコミュニティが出来ている例がある。キーマンが必要だが、こういう「コミュニケーションできる仕組み」が必要だと思う。

質問3 市町の「地域福祉」を支援することが県の役割とされていますが、県や市町といった行政に求められるものは何だと思えますか。

- ・全国で成功している事例の研究や、対象地域の特徴を把握（地域へのヒアリング）してその地域に見合った対策を主導したり、補助金などでの支援。

質問4 その他、「地域福祉」について考えること、思うことがあれば教えてください。

- ・管理アパートで父子家庭や母子家庭の子供のいたずら（例えば共用廊下でおしっこをする等）が同アパートの住人に迷惑をかけているがなかなか止まない。そのような家庭では子供の不規則な生活習慣や一人（もしくは兄弟だけ）でいる時間が多かったり、親が子供に対して怒鳴ったりすることが多いように見える。この辺りを地域の高齢者の方や、教職OB、地域の商工会、農家なんかとのうまいつながりを持てるような仕組みづくりができればお互い良いコミュニケーションとなるのではないかと。

